

議会だより つしま

No.14

2021

11月

令和3年

私たちはこの笑顔を守ります



『比田勝小稲刈り体験』

- ★9月定例会あらまし・委員会審査報告・・・2
- ★9月定例会一般質問・・・・・・・・・・・・・・3～6
- ★所管事務調査報告・・・・・・・・・・・・・・6～8
- ★編集後記・・・・・・・・・・・・・・8

発行：対馬市議会

編集：対馬市議会広報編集特別委員会

〒817-1201 長崎県対馬市豊玉町仁位380番地

TEL 0920-58-1379 FAX 0920-58-1018

E-mail t_gikai@city-tsushima.jp



9月定例会あらまし

9月定例会は、9月14日から9月24日までの11日間の会期で開かれ、令和2年度一般会計歳入歳出決算ほか令和3年度一般会計補正予算等38件の提出議案について審議されました。審議の結果はいずれも原案のとおり承認、可決、そして閉会中の継続審査となりました。

市政一般質問は、10人が登壇し、活発な議論が展開されました。

◎主な議案

- ◎専決処分の承認を求めることについて承認予算案3件
- ◎令和2事業年度公益財団法人厳原愛育会経営状況報告についてなど報告8件
- ◎令和2年度対馬市一般会計歳入歳出決算の認定についてなど閉会中の継続審査8件
- ◎令和3年度対馬市一般会計補正予算（第7号）など補正予算案4件
- ◎対馬市公園等設置条例の一部を改正する条例について条例改正案1件
- ◎財産取得契約の締結についてなど議決案5件
- ◎人権擁護委員候補者の推薦について諮問案2件
- ◎その他、請願2件、陳情1件、意見書案4件

委員会審査報告

議会において、提出された議案等を慎重に審査するため、所管の常任委員会に付託することができま。各委員会は、付託された議案等を詳しく審議し、議案等の可否を採決し、委員会としての意思を決定します。委員長は、審査報告書を議長に提出し、本会議において報告をします。今定例会においては次のとおり審査報告がされました。

総務文教常任委員会

委員長 上野 洋次郎

◎付託された案件（4件）

- ①令和3年度対馬市一般会計補正予算（第7号）
- ②義務教育費国庫負担制度負担率の引き上げをはかるための、2022年度政府予算に係る意見書採択の請願について
- ③ゆたかな学びの実現・教職員定数改善をはかるための、2022年度政府予算に係る意見書採択の請願について
- ④コロナ禍による厳しい財政状況に対処し地方税財源の充実を求める意見書の提出について

◎審査内容

◎議会費、総務費、商工費、消防費、教育費に係る補正予算が計上され、CATV設定業務委託料、特定地域づくり事業協同組合設立支援に係る交付金、湯多里ランドつしま機械設備改修に係る測量調査、設計監理等委託料及び工事請負費、消防本部情報系サーバー更新、非常灯更新に係る工事費、教職員住宅、市内小・中学校及び社会体育施設に係る修繕料、旧志多賀小中学校排水路災害復旧工事費について審査を行いました。また、教育の機会均等と水準の維持向上をはかるため、義務教育費・国庫負担制度の負担割合を引き上げること、中学校・高等学校での35人学級を早急に実施すること等国に求める請願について、そして、地方自治体において社会保障関係経費等、将来に向け増嵩する財政需要に見合う財源確保のため、地方税財源の充実を国に求める陳情について審査を行いました。

厚生常任委員会

委員長 小田 昭人

◎付託された案件（1件）

- ①令和3年度対馬市一般会計補正予算（第7号）

◎審査内容

◎総務費、民生費、衛生費に係る補正予算が計上され、軽自動車関係の手続きが電子化されることに伴うシステム改修委託料、令和2年度生活扶助費等及び医療扶助費等国庫負担金精算に係る返還金、長崎県病院企業団負担金、新型コロナウイルスワクチン接種委託料等について審査を行いました。

産業建設常任委員会

委員長 春田 新一

◎付託された案件（2件）

- ①令和3年度対馬市一般会計補正予算（第7号）
- ②対馬市公園等設置条例の一部を改正する条例

◎審査内容

◎農林水産業費、商工費、土木費、教育費、災害復旧費に係る補正予算が計上され、森林経営管理事業委託料及び木質チップボイラ導入計画調査事業委託料、飲食店認証協力金、電子クーポン「対馬藩札」事業委託料、河川改修工事費、市道目保呂ダム支線道路災害復旧工事費について審査を行いました。また、あそくベイパークにおいて、対馬馬の乗馬体験実施に伴う料金を新たに設定するための対馬市公園等設置条例の一部を改正する条例について審査を行いました。

12月定例会のお知らせ

令和3年第4回定例会は、12月上旬に開催を予定しています。

※日程は、議会運営委員会で協議された後、ケーブルテレビ、議会ホームページに掲載しますので、ご確認ください。

市民との対話集会(議会報告会)中止のお知らせ

新型コロナウイルス感染症の影響により、令和3年度の議会報告会は中止いたします。

一般質問ここが聞きたい

9月定例会一般質問

10人の議員が市政に
対する一般質問を
行いました。



一般質問とは

議員が議長の許可を得て、市長等に対し、市の行政全般について、事務の執行状況や将来の方針等についての所信や疑問を質し、報告や説明を求めるものです。

一般質問を行う場合は、通告書に要旨を記入し、事前に議長に提出します。

一般質問の時間は質問と答弁を合わせて50分以内としています。

伺っております。

(市長) 土、日にPCR検査がなされてないため、患者の病状が悪化している現状を市長はわかっていますか。病院側に土、日もPCR検査をされるよう働きかけてください。

◆PCR検査の対応について

(市長) スクールバスへの混乗はできない。路線バスの今里〜阿連間新設を検討中。

◆阿連地区の通学バス混乗について

(入江) 6月の一般質問でお願いしておりました阿連地区の通学バス混乗について、どこまで進展しておりますか。

増やしてほしい。

(教育長) 現在において、職員を増やすことは無理。

◆文化財の管理体制について

(入江) 全島202の文化財の管理に対して、現在の職員では管理ができませんので、職員を増やしてほしい。

(福祉保険部長) 福祉関係者2名、学識関係者3名、保健医療関係者5名、被保険者代表2名、介護保険負担関係者1名、公募委員1名、計14名。

◆文化財の管理体制について

(入江) 介護保険事業計画策定委員会とはどういうメンバーですか。

(市長) 令和3年3月に第8期介護保険事業計画を策定し、315人の待機者のことは認識しておりますが、令和22年の人口推計等から導かれる介護サービス需要を踏まえて施設整備については、慎重に検討する必要がありますため、新たな入所施設整備は計画しておりません。

(入江) 介護保険事業計画策定委員会とはどういうメンバーですか。



入江 有紀議員

◆老人ホームの入居申込待機者について

(入江) 現在、老人ホームへの入居申込待機者は315人おられますが、市長は何か対策を考えておられますか。

ある。

(市長) 企業誘致の今後の取組について伺う。

◆企業誘致計画について

(市長) 今後は全国、世界中の富裕層を対象とした、一泊2万円〜4万円の高級ホテルの誘致を考えている。場所、時期についてはまだ未定である。

(市長) 研究する。

(市長) 今年度は、新たに35歳から44歳までのU・Iターンを対象として募集を行っている。市内在住者に、より多くの受験をしていただくよう周知に力を入れた。

(市長) 今年度は、新たに35歳から44歳までのU・Iターンを対象として募集を行っている。市内在住者に、より多くの受験をしていただくよう周知に力を入れた。

(市長) 今年度は、新たに35歳から44歳までのU・Iターンを対象として募集を行っている。市内在住者に、より多くの受験をしていただくよう周知に力を入れた。

(市長) 今年度は、新たに35歳から44歳までのU・Iターンを対象として募集を行っている。市内在住者に、より多くの受験をしていただくよう周知に力を入れた。

(市長) 今年度は、新たに35歳から44歳までのU・Iターンを対象として募集を行っている。市内在住者に、より多くの受験をしていただくよう周知に力を入れた。

(市長) 今年度は、新たに35歳から44歳までのU・Iターンを対象として募集を行っている。市内在住者に、より多くの受験をしていただくよう周知に力を入れた。

(市長) 今年度は、新たに35歳から44歳までのU・Iターンを対象として募集を行っている。市内在住者に、より多くの受験をしていただくよう周知に力を入れた。

(市長) 今年度は、新たに35歳から44歳までのU・Iターンを対象として募集を行っている。市内在住者に、より多くの受験をしていただくよう周知に力を入れた。

(市長) 今年度は、新たに35歳から44歳までのU・Iターンを対象として募集を行っている。市内在住者に、より多くの受験をしていただくよう周知に力を入れた。

(市長) 今年度は、新たに35歳から44歳までのU・Iターンを対象として募集を行っている。市内在住者に、より多くの受験をしていただくよう周知に力を入れた。

(市長) 今年度は、新たに35歳から44歳までのU・Iターンを対象として募集を行っている。市内在住者に、より多くの受験をしていただくよう周知に力を入れた。

(市長) 今年度は、新たに35歳から44歳までのU・Iターンを対象として募集を行っている。市内在住者に、より多くの受験をしていただくよう周知に力を入れた。

(市長) 今年度は、新たに35歳から44歳までのU・Iターンを対象として募集を行っている。市内在住者に、より多くの受験をしていただくよう周知に力を入れた。



糸瀬 雅之議員

◆対馬市子ども夢づくり基金について

(糸瀬) スポーツ活動振興費補助金について小・中・高校生の県大会の旅費、宿泊費の交付基準の見直しをしていただきたい。

(教育長) 現在、交付基準を見直す考えはない。

◆道路環境整備について

(糸瀬) 市内の道路沿いの伸び枝の伐採について、国道・県道・市道の環境整備、景観整備はどのように考えているのか。

(市長) 日常生活に支障をきたしている場所及び国道・県道・市道についてはパトロール等を行い、危険な場所は早急に県とも協議を行い伐採を進めていく。

(糸瀬) 上対馬高校通学路歩道沿いや観光地周辺及び、対馬市内の道路改良工事の未着工区間における道路幅の狭い区間を早急に伐採していただきたい。

◆対馬市職員採用計画について

(糸瀬) 消防署職員の採用について、近年、中途退職が多い現状であるため今後の採用計画はどのように考えているか。

(市長) 今年度は、新たに35歳から44歳までのU・Iターンを対象として募集を行っている。市内在住者に、より多くの受験をしていただくよう周知に力を入れた。

(市長) 今年度は、新たに35歳から44歳までのU・Iターンを対象として募集を行っている。市内在住者に、より多くの受験をしていただくよう周知に力を入れた。

(市長) 今年度は、新たに35歳から44歳までのU・Iターンを対象として募集を行っている。市内在住者に、より多くの受験をしていただくよう周知に力を入れた。

(市長) 今年度は、新たに35歳から44歳までのU・Iターンを対象として募集を行っている。市内在住者に、より多くの受験をしていただくよう周知に力を入れた。

(市長) 今年度は、新たに35歳から44歳までのU・Iターンを対象として募集を行っている。市内在住者に、より多くの受験をしていただくよう周知に力を入れた。

(市長) 今年度は、新たに35歳から44歳までのU・Iターンを対象として募集を行っている。市内在住者に、より多くの受験をしていただくよう周知に力を入れた。

(市長) 今年度は、新たに35歳から44歳までのU・Iターンを対象として募集を行っている。市内在住者に、より多くの受験をしていただくよう周知に力を入れた。

(市長) 今年度は、新たに35歳から44歳までのU・Iターンを対象として募集を行っている。市内在住者に、より多くの受験をしていただくよう周知に力を入れた。



小島 徳重議員

◆人口減少対策について

(小島) 第2次対馬市総合計画(後期)における2025年の目標人口3万人を達成するための施策、事業計画は。

(市長) 人口減少対策は、本市の最重要課題であるが容易に達成できるものではない。実現するため、行政、関係機関、市民が一体となって取り組む。それぞれの分野で具体的施策を掲げ取り組んでいる。

(小島) 「関係人口」の創出・拡大のための具体的な施策、事業計画は。

(市長) 主な事業として、域学連携事業を推進している。ウェブ形式のグローバル大学等を実施。ホームページの更新、SNS等の配信により対馬をPRしている。

◆通学路の安全確保について

(小島) 各学校の通学路の安全確認はなされているか。改善が必要な場合の対応は。

(教育長) 各学校、定期的に安全点検を実施。改善が必要な場合は、合同点検を実施。点検の結果を受け、関係機関で対応を検討。

◆小鹿建物被害に関する総合賠償保険の取扱いについて

(小島) 小鹿漁民センターによる隣家の建物被害に関する総合賠償保険の取扱いについて、市の行政手続きに瑕疵はなかったか。

(市長) 「総合賠償補償保険の手引き」に添って手続きを行った。特に問題はなかった。

(小島) 市として、令和3年1月25日以前に、損保会社に入会し保険金を支払うことを求めた。総合保険の支払額が早期に決定していれば、市が被害者に支払う金額も変わってくる可能性があった。市が被害者に支払った3,764万円と市が損保会社から受けとった948万円との差が大き過ぎる。



伊原 徹議員

◆福祉にやさしい「つしま」づくり

(伊原) 特別支援学校小中学部設置を望む多くの嘆願署名者数や県議会での教育長の回答、

また、直近の市内の特別支援学級の児童・生徒数は年々増えているが、設置の可能性は。

(教育長) 設置を望むご家族の想いを受け、設置に向けて研修会を実施、また、設置者である県教委と共に、開設に向けてより具体的に可能性を探っている。

◆第一次産業における循環型への取り組み

(伊原) マグロ残渣と生ごみとの融合による堆肥化支援策のための機器導入は。

(市長) 養殖マグロの残渣処理については、事業系一般廃棄物処理として、市の焼却施設で受け入れ適正に処理している。市としても循環型社会への構築に向けた方向性を定めるため、事業者や関係機関と協議してまいりたい。

◆明るい安全な街づくり

― 厳原大町通りを中心に ―

(伊原) 安心安全な歩行や走行のため、街灯設置はできないか。

(市長) 大町通りのデザインは、厳原町美しい街づくり推進委員会を採用され、安易に変更することは難しい。しかし、暗いところ指摘もあり県と協議したい。

◆厳原港国内新ターミナルビルへの誘導立て看板の新設

(伊原) 新ターミナルビルへの進入口が分かりづらいので、夜間でも確認可能な立て看板設置はできないか。

(市長) 新ターミナルビルへの進入口は分かりづらいとの指摘がある。厳原港湾は現在、整備中であり、簡易的な看板設置ができないか、県と協議してまいりたい。



陶山 莊太郎議員

◆第2次対馬市総合計画(後期計画)における市民の役割について

(陶山) 総合計画内の市民の役割の具体化と周知が必要と考えるが。

(市長) 総合計画は、対馬市の道しるべとなる位置付けであるため、具体的に明記はせず、市民の皆様には、主要な取り組みに対して、一人一人ができることに協力してもらいたい。また、市民への周知は、概要版を各世帯に配布するとともに、アンケートにより、進捗や成果の評価を進める。

(陶山) 総合計画と連動する分野別計画で市民の役割を具体化できないか。

(市長) 今後は、連動する分野別計画においても、市民が参画しやすい計画づくりを進める。

(陶山) 総合計画の「郷土を愛するつしまっ子の育成」で保護者の役割が、家庭での学習の指導とあるが、保護者に対する支援施策を伺う。

(教育長) 家庭教育力の向上と充実を図るため、つしまっ子郷土読本及びつしまっ子家庭教育10か条の配布や長崎ファミリープログラムの活用に取り組んでいるほか、対馬市PTA連合会への助成も行っている。

(陶山) 対馬市PTA連合会へ家庭教育力向上のため、更なる助成はできないか。

(教育長) PTA連合会、教育委員会及び校長会と懇談会を行い、連携の深化を図る。

◆対馬市立佐須中学校及び南小学校の閉校後の避難所等としての運用について

(陶山) 両校が閉校後に、指定緊急避難場所として安全性の高い校舎も指定できないか。

(市長) 閉校後に体育館を、社会体育施設として活用する場合は、避難場所として指定している。また、校舎については、集会所の目的で利用されている場合は校区の皆様と協議する。

(教育長) 閉校に向けた準備委員会を立ち上げ、円滑な引継ぎ業務を図っていく。



小宮 教義議員

◆新型コロナウイルス対策について

(小宮) ワクチン接種の現状の取組について。

(市長) 希望する65歳

以上の高齢者の方々の接種を7月末までに完了できるよう取り組んできたが、7月末現在の接種率は87・0%となり目標をほぼ達成できたのではないかと考えている。7月上旬から64歳以下の方への接種券を年齢の高い方から順次発送し個別接種及び集団接種を実施している。

(小宮) 今後のワクチン接種計画について。

(市長) 9月17日までは12歳から15歳の方への接種券を発送予定としており、これによりワクチン接種の対象となる12歳以上の市民の皆様への接種券発送が完了する。9月末までにワクチン接種の対象となる市民のうち8割に相当する方に接種できるだけの量のワクチン供給が見込まれている。希望する全市民への接種完了目標を11月末と設定し取り組んでいく。

◆小鹿漁民センター賠償保険等について

(小宮) 今回瑕疵が認められた保険による賠償金が支払われたが、事前に支払われた約4千万円はどうなったか。

(市長) 適切・正当な損害賠償額と判断して相手方に支払い済みである。



春田 新一 議員

◆創生総合戦略について

(春田) 上対馬病院での出産について、現在は先生不在で対馬病院での出産となつていますが、安全な出産に備え支援策の拡充は。

(市長) 上対馬地域での出産については支援策として交通宿泊費補助をしている。

(春田) 対馬病院までは時間もかかり本人、家族にとつての負担は大きいので支援策の拡充はないか。

(市長) 当事者からの意見があれば支援の拡充も考えたい。

(健康づくり推進部長) 今年度から子育て世代包括支援センターを開設しています。病院とも連携をしながら取り組んでまいります。

(春田) 教育支援センターの運営と利用状況は。(教育部長) 下地区に対馬市教育支援センターを設置し、運営しています。年間利用状況は児童が延べ243名、保護者が延べ85名です。

(春田) 支援センターを上地区にも設置できないか。(教育長) 指導が必要な子ども達がおられるなら設置も検討したい。

(春田) 元気な高齢者が地域において活躍できる事業として、シルバー人材センター事業があるが、現状及び今後の取組について。

(市長) 目標である年間活動延べ日数が5,000日に近づき、今後一般社団法人化に向けて取り組みます。シルバー世代が持つ豊富な知識と経験を活かせるよう取り組んでいきます。

(春田) 生活支援、「ちよこつとサービス」事業の利用状況は。

(市長) 利用回数が44回で利用状況は低調な状況です。地域の支え合いの支援を受けている高齢世帯が多いことも利用に結びつかない原因となつていきます。市民に深く浸透していくよう取り組んでいきます。

(春田) 少子高齢化が進む過疎地域において見守り、交通、買い物支援の整備は。

(市長) この事業については行政だけでは難しい問題であり、民間の協力を頂いて進めていきたい。上地区ではスーパースターの協力で買い物支援をして頂くようになり本当に感謝しています。



脇本 啓喜議員

◆Society5.0の恩恵享受を促進するための具体策について

(脇本) 保有ビッグデータ有効活用を推進するため、個人情報取り

扱い庁舎内ルールの明確化及び民間企業への情報開示促進を求める。

(市長) 行政機関が保有する個人情報に関する法律及び関係法令上の「保護」と「規則」に基づき業務を遂行している。ビッグデータの二次加工を含めて民間企業への情報開示は、長崎県が整備している「連携基盤」の整備により県内市町と足並みを揃える。DX推進は庁舎内で機運を醸成中だ。

(脇本) 首都圏にオンライン診療所を提携大病院設置し、兼務することで医師のスキルアップ希望と提携病院の(将来的には離島の病院も)医師不足解消にもつながる。また、集会所等に看護師等を派遣し、診療支援に当たれば通院難民が大幅に解消できる。国境離島共同で首都圏にオンライン診療所を開設の検討を求める。

(市長) 診療の原点は対面診療であり、オンライン診療は課題が多いと考えるが、国の動向等を注視したい。

◆地域循環型経済理念の普及について

(脇本) 地域循環型経済理念の普及について市長の答弁を求める。

(市長) 地域循環型経済の確立が、理想的であることは承知している。今後市民に向けた啓発も進めていきたい。

(脇本) 日銀短観の対馬市版を実施し、従来の感覚に基づく経済政策ではなく、証拠やデータに基づく経済政策への転換を図ってはどうか。

(市長) 専門家によるとサンプルが300社超でないとうと効果が出ないという。対馬市での調査実施は効果が期待できにくいと思われ実施しない。



船越 洋一議員

◆久田2号線の道路拡幅について

(船越) 県道から旧久田幼稚園跡までの道幅が狭く、車の離合がで
きない状況であるため、

この間の道路拡幅が必要だと思うが。

(市長) 久田2号線は久田地区の重要な生活路線であり、改善は必要だと思うので、交付金等を活用してできる限り早い時期に着工できるように努力する。

◆万松院入口の橋の架け替えについて

(船越) この地域は宗家墓所をはじめ国指定史跡が数多くある。また、博物館も来年4月には開館予定であり、対馬の観光の目玉となる地域であるが、観光バスの駐車場がなく大変憂慮されているため、万松院入口の橋の架け替えをし、万松院広場をバスの駐車場に活用できないか。

(市長) 以前も老朽化が進んだ橋をどうすべきか、万松院保存会、歴史施設委員会と将来的な構想を諮問をしたが、大型バスは入れないで歩行で回るのが良いとの答申を受けた経緯がある。架け替えをするのであれば、ボックスカルバートを入れれば大きな事業費にはならないと思うが、朝鮮通信使歴史館横の土地を駐車場に活用できないか検討している。

◆博物館建設について

(船越) 博物館は来年4月に開館予定であるが、建設費の当初からの増減は。また、維持管理費が財政を圧迫するのではないか。

(市長) 建設事業は決定した継続費の範囲内で進めているが、建設資材の需要増等で工事請負費が5億3,000万円の増。また令和3年度の施設管理費は約4,700万円を見込んでいます。ふるさと納税の活用や魅力ある展示により、経費の縮減や来館者の増につとめる。



大浦 孝司議員

◆フェリーうみてらしの運行時間の変更について

(大浦) 本年7月1日より、新造船うみてらしは比田勝・博多間を就航している。問題は対馬発16時発、博多着20時50分着は乗船客の立場から、対馬からの出発時間が遅すぎるとの意見が上がっている。市長の考えについて伺いたい。

(市長) 就航時間の決定については、アンケート調査を参考としたと聞き及んでいる。時間帯を変更した場合、使用岸壁の調整が可能であるかどうか、また、人件費が高騰することが予測されるようである。

(大浦) 現在、コロナ禍により国際航路は運休状態であるが、仮にコロナ終息により再開された場合、JR九州のビートルの混乗は継続できないことが浮上している。万一、そのようなことになれば比田勝・博多間の就航はうみてらしのみとなり根本的に考え直す必要がある。

◆法面保護と入会林野の整備について

(大浦) 集落の家屋が密集している裏山の法面について、災害防止のコンクリート吹付等の工事が行われているが、対象地が入会林野の場合、県への所有権の移転ができないことから工事の断念を余儀なくしている箇所も発生している。国県道路の改良について、入会林野整備は市の負担で行われていることに問題はないが、法面保護(急傾斜事業)において同様な対応ができないか尋ねる。

(市長) 国県道の改良事業と同様の対応とする。

所管事務調査報告

常任委員会では、条例案その他議案の立案のためや問題点のある事務の改善を究明するため自主的にテーマを設定し、調査を行うことができます。調査結果については、報告書を議長に提出し、本会議において報告します。今定例会においては次のとおり調査報告がされました。

総務文教常任委員会

委員長 上野 洋次郎

本委員会は、令和3年8月26日に、「CATV施設の現状と設備機器の更新等について」及び「空き家バンク制度の状況と今後の取組等について」所管事務調査を行いました。

対馬市CATV施設は、構成するサーバー機器の耐用年数は5年から7年、通信機器の耐用年数は7年から10年といわれており、本施設の放送系及び通信系機器はすでに耐用年数を超えている状況にあります。将来にわたり安定したCATVサービスを提供していくため、平成28年3月に対馬市CATV施設更新計画を策定しましたが、システム機器の製造中止など情勢の変化により、令和3年3月に更新計画の見直しを行っております。計画的な更新については、高度な機器が連動して動作する設備であり、更新時期よりも早く故障する機器もあることから、テレビサービス等の市民への安定提供のためには機器故障前に計画的に更新を行う必要がありますが、現在まで対応できる補助制度が無いことから、国、県に対し機器更新に活用できる補

助事業の創設や財政支援の要望を、同様の施設を有する他の離島地域と協力しながら行っていたなどの説明がありました。現行サービスの提供は市民にとって必要不可欠であり、有人国境離島法に関連した新たな補助制度や交付金等の可能性、情報通信関係の専門家の意見など、継続的な設備運営ができるよう、あらゆる方策を積極的に検討していただくことを望むものであります。

空き家バンクは、空き家の有効活用を通じて、定住促進による地域の活性化を図るための制度であり、空き家の売買または賃貸を希望する所有者等から空き家に係る情報を登録するとともに、対馬市内への定住を目的として空き家の利用を希望する者に対し、当該情報を提供するシステムです。平成18年から現在までの登録数は累計で74件、その内、登録物件の売買または賃貸借契約の成立に係る成約は49件です。平成30年1月に、対馬振興局との連携協力及び本市の郵便局と移住定住人口確保に関する協定を締結し、移住サポーターとして、移住希望者への案内や情報提供を行っております。

今後も、郵便局と市からの情報共有の連携強化、島おこし協働隊と連携した空き家の掘り起こし活動の推進、空き家バンク登録に関する広報紙への掲載、郵便局の窓口へチラシの配置など、掘り起こしを重点的に推進していく計画であるとの説明がありました。改修及び家財道具等処分に関する補助制度も設定されており、これまで以上に、市内及び市外への十分な周知等に取り組んでいただくことを望むものであります。



CATV美津島センターで説明を受ける

■厚生常任委員会

委員長 小田 昭人

本委員会は、令和3年8月19日、新型コロナウイルスワクチン接種予約体制及びワクチン接種状況等について、調査を行いました。

対馬市役所東里庁舎内にありますコールセンターは、現在5人体制で市民の命と健康を守るための事務等が行われていました。特にワクチンの保管、配送等については細心の注意を払い、間違いないよう厳重に取扱いをしているとのことでした。

ワクチンの接種状況は、令和3年8月18日現在、1回目接種者が16,786人（接種率61・4パーセント）、2回目接種者が12,802人（接種率46・8パーセント）となっています。

介護施設等での接種状況は、22施設で5月6日から7月31日の間に巡回接種が実施され、施設入所者が1回目及び2回目接種の総計で1,318回、介護従事者が1,135回接種して

います。

個別接種は11の個人経営医院等から協力をいただき、接種回数は15,971回、集団接種は対馬病院で4,046回、各町の体育館等で7,118回となっています。

独居老人等の接種については、巡回バスを準備する等、接種希望者に対し様々な対策を講じており、在宅障害者については各関係者と連携調整を図っているとのことでした。

接種後の副反応の状況は、現時点で医療機関から副反応の報告はなく、特に2回目の接種後に多く聞かれる腕の局部反応や発熱、頭痛や倦怠感等は、ほとんどが数日内に消失していると認識しているとのことでした。



東里庁舎で説明を受ける

産業建設常任委員会

委員長 春田 新一

本委員会は令和3年8月20日、市内道路の整備、進捗状況と今後の課題について所管事務調査を行いました。

市道尾浦浅藻線道路改良工事の現地で、令和2年度の予算説明と進捗状況、又、3工区に分割発注している令和3年度工事について説明を受け、トンネル坑口から安神まで道路線形等の確認等についても現地確認をしました。その後、市内道路の整備の進捗状況と今後の課題について建設部の説明を受けました。

①市道尾浦浅藻線道路改良事業

全体計画について平成25年度に作成した市独自の事業計画の対象箇所は、尾浦地区から浅藻地区の約10km区間、作成当時と比較すると約1・5倍で総事業費は230億円と想定。また安神地区から浅藻地区までの整備計画は未定となっている。現計画案においては事業費が大きすぎるため、今後コストを削減した工法やルート案を長崎県と情報共有し進めていくことが重要だと説明を受けました。

②市道堂坂線道路改良事業

主要地方道上対馬豊玉線の舟志～琴間の代替え路線として、県のみちづくりスクラム事業を活用して平成25年度から事業に着手しており、トンネル部が1・55kmで事業費的にも大きいので、尾浦浅藻線のトンネル工事完了後に着手できるよう工事を進めている。今後も計画的な事業執行に向けて安定的な予算確保に努めていきたいと説明を受けました。

③主要地方道上対馬豊玉線（位ノ端工区）道路改良事業

改良対象となっている位ノ端工区は櫛地区と位ノ端地区との境から曾地区を結ぶ全体計画1・7kmの区間で、現状の車道部4mを5・5mに拡幅する改良部とトンネル部により整備する。整備期間は令和元年度から令和8年度までを予定していると説明を受けました。

④市道仁位貝鮎線（仁位工区）道路改良事業

豊玉町仁位川沿いを下り、糸瀬地区、嵯峨地区を経由し、貝鮎地区を終点とする延長8kmで現状の車道部4mを5・5mに拡幅する改良工事であり、整備期間は令和3年度から令和12年度までの予定です。今後も継続的な予算確保に努めていきたいと説明を受けました。

委員から尾浦浅藻線道路改良事業の全体計画については事業費が大きすぎるため長崎県とも協議を重ねられ取り組んでいただきたい。他の事業についても計画的な事業執行に向けた予算確保に努力をしていただきたいと意見がありました。



安神地区内で説明を受ける

編集後記

新型コロナウイルスのため、1年延期されていた東京オリンピック・パラリンピックが、賛否両論のなか開催されました。無観客の中での競技でしたが、選手の限界に挑戦する姿に感動と、そして時には涙すら流したのは私一人ではないだろうと思います。コロナ禍の中、果たしてどんな大会になるのか、世界中の目が、日本の危機意識と管理体制を見守る中、オリンピック・パラリンピックの関係者はもとより、大会ボランティアの努力のおかげで、無事閉会式を迎えることができたことに、一人の日本人として、大変誇らしい気持ちになりました。皆様はどうでしたか？

10月4日に、第100代内閣総理大臣が決まりました。内憂外患の中、非常に厳しい船出となりますが、総理には曲学阿世に走ることなく、一本の芯が通った政治を貫いてほしいものです。

※曲学阿世：世に受け入れられやすいように真理を曲げること。

（文責：島居真吾）



議会広報編集特別委員会

【委員長】小島徳重 【副委員長】島居真吾
【委員】陶山莊太郎・入江有紀・上野洋次郎